

News Letter

2018年

9月

中国四国農政局
鳥取県拠点

鳥取県東部、扇ノ山南麓に広がる高原地域で「広留野大根」が生産されており、旬を迎えています。

「広留野(ひろどめの)大根」は、八頭町と若桜町にまたがる扇ノ山(おうぎのせん)を望む標高650~850メートルの広留野高原で、扇ノ山山麓の黒ボク土壌と赤土が混ざり合う肥沃な土地と、高原地帯特有の冷涼な気候を利用して生産されています。



(広留野高原に広がる大根畑)

現在、広留野高原では7軒の農家が9.5haの農地で大根の生産を行っています。この地域は積雪が多いため、12月中旬から4月中旬までは畑での作業はできません。雪解けを待って、5月の連休明け頃から作業が始まります。播種作業は6月始めから8月中頃まで、収穫作業は8月始め~10月末まで続きます。



(作業場で洗浄され出荷を待つ広留野大根)

「広留野大根」は、煮込んでもやわらかさを保ったまま煮崩れしないところが特徴です。また、大根サラダ、大根おろしなどではみずみずしさと大根の持つ辛味と甘みを味わっていただけます。

今年産は、7月豪雨と播種時期が重なり生育の遅れが心配されましたが、天候がすぐに回復したこと、雨が少なかったために病気はほとんどなく、虫害もほとんどなかったため平年作以上、約350トンの出荷が見込まれています。収穫した大根は、JA鳥取いなばを通じて県内のほか、姫路市場に出荷されます。



ひとくちメモ

広留野高原の開拓の歴史は古く、戦後、本格的に事業が始まりました。昭和40年頃から冷涼な気候を利用して夏でも出荷できる大根が生産されるようになり、現在まで50年以上続いています。

「第3回食育活動表彰～平成31年度～」を募集しています。

食育を推進するためには、農林漁業、食品製造・販売等その他の事業活動、教育活動又はボランティア活動を通じて食育の推進に取り組む者による取り組みが全国で幅広く行なわれることが重要です。このため食育関係者を対象として、その功績を称えとともに、その取り組みの内容を広く国民に周知し、食育を推進する優れた取り組みが全国に推進していくことを目的として表彰を行います。たくさんのご応募をお待ちしています。



「第3回食育活動表彰～平成31年度」募集開始について
<http://www.maff.go.jp/j/press/syouan/hyoji/180817.html>

平成30年7月豪雨において飲食料品等を輸送していただいた航空自衛隊第3輸送航空隊に大臣感謝状を手交しました



中国四国農政局鳥取県拠点は、平成30年9月25日(火)、鳥取県境港市の航空自衛隊美保基地において、平成30年7月豪雨に際して給水車の輸送、被災地での給水支援などで多大なるご協力をいただいた第3輸送航空隊に対し、竹重地方参事官から大臣感謝状を手交しました。

(プレスリリース)平成30年7月豪雨において飲食料品等を提供していただいた方々への大臣感謝状の交付について
http://www.maff.go.jp/chushi/press/ke_kigyoyo/180913.html

平成30年7月豪雨等に関する情報
<http://www.maff.go.jp/chushi/saigai/1807gou.html>

◎「News Letter」は、原則奇数月に発行しています。

編集：中国四国農政局 鳥取県拠点

〒680-0845 鳥取市富安町2丁目89番地4 鳥取第1地方合同庁舎

TEL(0857)22-3131(代) FAX(0857)27-9672 <農政局HP> <http://www.maff.go.jp/chushi/>

◆ニュースレターに関するアンケートにご協力ください。 <https://www.contactus.maff.go.jp/j/chushi/form/nl180401.html>